

教育事務所	地区	市町村数	パトロール対象箇所数	管内計	パトロール実施件数(年2回)
県中	石川	5	25	104	208
	田村	7	26		
県南	西白河	7	29	56	112
	東白川	5	27		
会津	北会津	4	23	121	242
	両沼	5	22		
	耶麻西部	4	25		
	耶麻北部	4	27		
	耶麻東部	4	24		
南会津	南会西部	4	16	33	66
	南会東部	3	17		
相双	相双北部	4	21	67	134
	相双中部	3	24		
	相双南部	7	22		
いわき	いわき北部	1	26	49	98
	いわき南部		23		
計	21	90	502	502	1,004

② 文化財保護指導者講習会

ア 趣 旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の涵養を図るため、文化財の保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に役立てる。

イ 期日及び場所

平成2年8月1日～2日 サンライフ原町

ウ 講義内容及び講師

「吉野ヶ里遺跡」

一発掘調査から保存整備まで一

佐賀県教育委員会文化財課長 高島 忠平

「浜通り地方の貝塚の分布とその調査について」

いわき市立藤間中学校 教頭 渡邊 一雄

「県指定史跡長沼南古館」

一調査から指定及び今後の整備計画について一

長沼町教育委員会 学芸員 市川 一秋

「相馬地方の文化財について」

県立原町高等学校 教諭 玉川 一郎

○ 現地研修

概要説明

「近年の大規模開発と発掘調査について」

県文化課遺跡班

現地研修

「鳥打沢A遺跡ほか」

財福島県文化センター

2 文化財保存調査の推進

① 民俗文化財調査(民俗芸能緊急調査)

都市化の進展等により、民俗芸能は急速に衰退し、その内容が変容し、中断又は廃絶しつつあるものが多い。

本調査は平成元年度から継続して実施してきたが、今年度は今までの各地域の民俗芸能の調査結果を報告書として次のとおりまとめた。

所在及び現状等悉皆調査 1,478件

二次調査(詳細調査) 138件

② 文化財調査(貝塚詳細分布調査)

貝塚は、縄文時代等の社会や文化を知る上で極めて重要な遺跡であるが、近年の開発行為の進展は、その保存に重大な影響を及ぼしている。

本調査は、これらの悉皆調査と既調査資料の収集を行い、今後の保護策を講じるための基礎的資料を整備しようとするものである。

平成元年度から継続して調査を進めてきたが、今年度はこれまでの調査結果を報告書として次のとおりまとめた。

表面調査(悉皆調査) 53カ所

重点地区調査 12カ所

③ 文化財指定調査

歴史的、学術的価値を有する文化財の中から重要なものを選定し、指定のための調査を行った。

県文化財保護審議会の答申に基づき、平成3年3月22日付けをもって指定等を行った文化財は次のとおりである。

平成2年度福島県指定文化財一覧表

種別	名称	員数	所在地	所有者	所有者の住所
重要文化財 建造物 考古資料	専称寺本堂 松野千光寺経塚出土品	1棟 一括	いわき市平山崎字梅福山5番地 喜多方市字柳原7503番地の1 喜多方市郷土民俗館	専称寺 喜多方市	所在地に同じ 喜多方市字御清水東 7244番地の2
重要無形 文化財	消金地				
天然記念物	いわき市入間沢産 クビナガリュウとノコギリエイ化石	13点	いわき市常磐湯本町向田3番地の1 いわき市石炭化石館	いわき市	いわき市平字梅本21番地
天然記念物	いわき市高久産 ステゴロフォドン象の下顎骨化石	1点	いわき市常磐湯本町向田3番地の1 いわき市石炭化石館	いわき市	いわき市平字梅本21番地